

## 平成 29 年度第 2 回恵庭創生懇談会議事録（要旨）

日時	平成 29 年 10 月 31 日（火） 13:00～14:40
場所	恵庭市役所 3 階 第 2・第 3 委員会室
出席者	小磯 修二（一般社団法人地域研究工房代表理事）
	増渕 隆昭（恵庭工業クラブ（サッポロビール株式会社北海道工場副工場長）
	橘内 勇（学校法人鶴岡学園北海道文教大学副学長）
	切明 毅（学校法人産業技術学園事務局長）
	林 和則（北洋銀行恵庭中央支店長）
	尾田 聡（北海道銀行恵庭支店長）
	尾野 教仁（恵庭市政記者クラブ 千歳民報社代表）
	伊藤 順之（連合北海道恵庭地区連合会長）
	佐藤 康介（社会保険労務士）
	葛西 春季世（千歳公共職業安定所（ハローワーク所長））
	渡邊 幹夫（北海道石狩振興局地域創生部長）
議題	（1）恵庭市人口ビジョンデータの更新について
	（2）平成 29 年度地方創生推進交付金事業実施状況について
	（3）2017 総合戦略改定について

発言者	内容
司会	<p><b>【次第 1. 開催あいさつ】</b> 企画振興部次長 大槻より開会のあいさつ。</p>
市長	<p><b>【次第 2. 市長あいさつ】</b> お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。平成 29 年度第 2 回目の恵庭創生懇談会です。平成 27 年に総合戦略及び人口ビジョンを策定し、この人口ビジョンでは平成 27 年をピークに人口が減少していくと推計しました。しかし、今なお恵庭市の人口は増えています。自然減は続いています。それ以上に社会増があるという状況です。そういったことから、人口ビジョンを改定することになりました。総合戦略を策定し、総合戦略に基づいてまちづくりを進めていった結果だと思っています。恵庭はまだまだ可能性のある、市民の方たちが幸せになれる環境だと思っています。その起爆剤として総合戦略があります。皆様方のお知恵をお借りして、総合戦略をさらに磨き上げたいと思っています。それぞれの分野での貴重なご意見をお寄</p>

市長	させていただきますよう心からお願い申し上げます。
司会	欠席委員の連絡。 配布資料の確認。
座長	人口減少に向き合う地方創生の取り組みの中で、転入人口が予想を上回って大幅に増えているという、他の地域の地方創生の議論には出てこない恵庭特有の動きだと改めて思います。総合戦略に基づいてまちづくりを進めてきた成果だと思います。今後この良い動きをどういった形でまちづくりに活かしていくかが、これからの我々が目指すべき議論の一つになるかと思います。では、さっそく議事に沿って議論を進めていきます。
事務局	<b>【次第3. 議事】</b> (1) 恵庭市人口ビジョンデータの更新について
座長	ご質問やご意見等がありますか。
C委員	大学や専門学校に通っている学生で、住民票を移していない学生がいると思いますが、住民票は移さないといけないのですか？
事務局	恵庭市の統計調査担当のほうで、大学や専門学校を対象とした調査を毎年度実施しています。学生のおおよそ半数（500人～700人程度）が市内在住者と考えています。基本的に住んでいる地域に住民票を移していただきたいという気持ちはありますが、成人式や保険等の手続きがあるので、学生の間は住民票を移さないという学生も多いようです。
E委員	恵庭に転入されてくる方の年齢層は把握していますか？
事務局	転入が多い地域は把握していますが、年齢層は把握できていません。30～40代の年齢層が多いという印象はあります。
E委員	全国的にも働き手が不足している状況で、各企業の求人等の活動が重要だと思いますが、恵庭の企業さんをハローワークや転職サイトであまり見かけません。勤めて3年以内に退職する人が多いですが、そういう退職者を恵庭の企業に呼び込むことができれば、恵庭に住んで働いてくれることにつながると思います。ですので、実際に恵庭に転入してくる方の年齢層はどうなっているのだろうと思い、質問しました。
市長	高校や専門学校、大学を卒業しても恵庭で働いていただきたいということから、中学生・高校生を対象に職業体験を通して、企業を知ってもらう取り組みをしています。学生の反応が非常に良く、これからも続けていこうと思っています。 自衛隊員など早期退職した方々を対象とした支援も検討しているところです。
座長	これまで、働く機会の調整・斡旋は、なかなか自治体の政策では難しい部分がありましたが、地方創生のこれからの取り組みの中で、大事な部分になる

座長	<p>と思います。特に恵庭は自衛隊のまちなので、自衛隊を退職した方と企業とのマッチング、情報提供は恵庭らしい取り組みになると思います。</p> <p>私から1点質問します。人口ビジョン改定にあたって、今後のスケジュールを教えてください。</p>
事務局	<p>第3回恵庭創生懇談会において、人口ビジョン改定（案）を出していきたいと考えています。</p>
座長	<p>人口ビジョンの改定は、私の知る限りでは全国初だと思います。ただ、数字を更新するだけでなく、改定したことがどのようにまちづくりに寄与するのか。総合戦略と連動性のあるような人口ビジョンになると非常におもしろいと思います。</p>
事務局	<p><b>【次第3．議事】</b></p> <p>(2) 平成29年度地方創生推進交付金事業実施状況について</p>
座長	<p>ご質問やご意見等がありますか。</p>
C委員	<p>専門学校の方角性も地方創生に貢献できる人材をどう育成するかを一つのテーマとしています。学校と市との連携をさらに深めていきたいと考えています。</p>
市長	<p>これからも学生や学校とのつながりを大切にしていきたい。双方向での意見交換等ができればと思います。</p>
座長	<p>起業塾などもやっているようですが、具体的に起業につながっているのでしょうか？</p>
市長	<p>恵庭はかなり前から起業塾をやっています。把握している限りでは、実際に起業している方は数件ですが、着実に増えてきていると思います。</p>
F委員	<p>移住・定住の促進について、他市町村では短期ステイ（お試し居住）のような取り組みをしているところがありますが、恵庭市でそのような取り組みはありますか？</p>
企画振興部長	<p>ありません。ただ、恵庭市の特徴としてオーダーメイドツアー（移住希望者で、実際に恵庭を見たい方を対象としたツアー。1名から参加でき、参加者の希望に沿って恵庭市内をめぐるもの）があります。また、移住希望者への情報提供や相談等は手厚くやっていますので、この辺りが恵庭市の移住・定住施策の特徴だと考えています。</p>
F委員	<p>わかりました。</p> <p>もう1点質問します。私の経験上、大学で進路指導の担当者が、地元の企業をよく知らないということがありました。恵庭の場合はわかりませんが、学生向けに企業訪問ツアー等をやるのもいいと思いますが、まずは進路指導をしている担当者へも地元の企業をよく知ってもらうことが大切だと考えています。その辺も考えて就職支援を実施するとより良いと思います。</p>

C委員	専門学校の場合、学科にあった職業にということが大前提になってきます。そうすると、就職先に限りがあるのと、学校側は離職率を低めたいという思いがあるので、必然的に地元就職することは厳しくなってしまうというのが現状です。
B委員	文教大学でも医療系や教職員系ということで、地元の就職には限界があります。ただ今後、大学に求められるのは、産学官の連携で地元の期待する人材を養成すること。地元の意向に沿えるような大学にしていきたいと思っています。
事務局	【次第3. 議事】 (3) 2017総合戦略改定について 総合戦略改定に際して、委員の皆様にご自由に発言していただき、ご意見等を聞かせていただければと思います。
I委員	今の若者は企業に働きやすさ、休みやすい環境を求めていると感じていますし、企業にもそれらが求められてきています。恵庭市にはたくさんの企業がありますが、働きやすい環境です！などの情報発信をすれば、恵庭市にも現役の子育て世帯がより移住してくることもつながると思います。また、働きやすく良い環境の企業を増やしていくことも重要だと考えています。企業もそういう方向で努力をしていますので、求人情報を出す際には、その辺のPRを工夫していけばいいのではと思っています。
市長	恵庭市でも子育て応援企業という事業をやっています。選ばれた企業には色々な場面で講演等をしていただいて、企業のPR効果はかなりあると考えています。働きやすさが企業の売りになり、若者もそこで働く。というような視点で考えていくことは大変参考になります。
B委員	子どもの生活・学習支援事業で北海道文教大学としては、相当お力になれるのではないかと思います。管理栄養士や教職員を養成しているので、子育て支援を通して学生自身の勉強にもなりますし、地域住民のお役にもたてると思っています。学生が市の様々な事業に関わることで、より安心して住んでいただけるまちになると考えます。機会をいただけるのであれば、大学もそういう方向で取り組んでいきたいと思っています。
C委員	教育の中では、産学官連携というのが一つのテーマになってきていますし、地域課題に向き合い、地域課題を克服させていけるような人材づくりが学校の役割だと思っています。高等教育機関があることによって、若い人材が恵庭に来るとということが恵庭の武器になっているのではと思っています。若い人材がおもしろいアイデアなどを持っている可能性があるので、そういう機会をつくっていただければ、若者の新しい発想で恵庭市を盛り上げていくことができると思います。

C委員	<p>また、来年の4月から台湾からの留学生が恵庭に9名来ていただける予定です。恵庭市が台湾に力を入れていることは、留学生にも響いていますし、留学生を含めた学生がSNS等で恵庭を発信できたら、よりPRになるのではないかと考えています。</p>
D委員	<p>出生率や人口問題の議論となると、外から人を呼び込むのはもちろんですが、今ここに住んでいる人たちが、いかにこれからも住み続けてくれるか。というのが一番のテーマである中で、特に中学生・高校生に対する恵庭の企業や恵庭の人との交流に力を入れてやっていかなければいけないのかなと思います。特に、高校生と大学生、高校生と専門学校生など縦のつながりをつくって、よりコミュニケーションをしていける環境づくりが大切。地元でこういう学校・学科が、こういう人がいるんだと。高等教育機関にも協力していただいて、新しい学科の創設や、市で行っている起業塾とも連携して、地元で起業させることにつなげる。何か今までと違う切り口で取り組んでいただけるといいのかなと思います。</p>
E委員	<p>若い世代の職員に、恵庭に住みたいか？と聞くとあまり良い反応はしません。一番の理由は、遊ぶところがないこと。4月から恵庭駅前通にオープンする緑と語らいの広場について考えると、恐らく学生以外は何らかの用があって、車で来ることになるのではないかと考えています。そうすると車で来て、用を足して、車ですぐ帰ってしまう。あまり経済効果がないということになってしまう恐れがあります。なので、緑と語らいの広場から、恵庭駅までの間に若者が楽しめるような施設ができると、もしかしたら緑と語らいの広場に歩いて行く。帰る途中に恵庭駅周辺に立ち寄る。というような流れができ、恵庭駅周辺に賑わいや経済効果が生まれてくるのかなと思います。</p> <p>若い頃に住んでいたまちが楽しい思い出だと、昔住んでいたまち、生活圏に家を購入しようと思いやすくなる傾向が体感的にあります。大学や専門学校の学生が恵庭で学業をやっている中でも、生活していて遊ぶところがあって、楽しいという記憶があると、今よりももう少し恵庭に就職したいと思う人が出てくるのかなと感じます。</p> <p>また、就職状況に関しては完全に売り手市場なので、恵庭の企業で人が足りない、人がほしいとなっている理由は、アピールがあまり上手ではないからだと思っています。恵庭の企業は札幌や千歳に全く劣っていない。イメージの問題だと思います。若い世代はインターネットなどのメディアで企業を探すことが多いと思いますが、その世代に恵庭の企業がヒットするような仕組みを工夫できればいいと思います。物件などの賃貸面は間違いなく恵庭は安いので、若者に対する住環境は非常に整っていて、まだまだ人を呼び込める可能性はあると感じています。</p>

E委員	この辺りのことを総合戦略に折り込めないのかなと思います。
G委員	<p>小学校は3年生で地元の勉強をします。小学校を卒業する頃には恵庭が好きだという児童はほぼ100%だと思います。そういう子たちが、就職して社会人になって、高齢者になるまで恵庭で生活していける道筋が市としてあるといいのかなと考えていました。</p> <p>それから、学校のことを教えてくださいと保護者からお問い合わせを受けることがあります。その時に、ただ聞かれたことに答えるのではなく、学校の特色やアピールポイント、恵庭の住みよさなどを地道ながらも伝えていくことができれば、良い方向につながっていくのかなと思いました。</p>
F委員	<p>アクティブシニアについてお話させていただきます。アクティブシニアの世代の方々の物事に対する意欲、行動力はすごく高いと思います。どこのまちでも長生大学などで学ぶ機会を設けているかと思いますが、もっと質の高い、再履修したいような方もいらっしゃると思います。恵庭に大学や専門学校があるので、そういう方々の受入れを検討してもいいのではないかと思います。</p> <p>商店街の活性化事業で、地元の商店街の活気はまち全体の活気にもつながります。長年の課題ですが、農業や商業、観光と連携させていきながら少しでも元気になっていけばいいと思います。そのためには、情報をいかに発信していくか。恵庭にはFMeniwaがありますし、上手く連携していければいいと思います。</p>
H委員	<p>特に建設業や農業で労働力が不足していて、直近の課題だと感じています。これから、外国人の働く場が増えていくと思いますが、最初のほうはなかなか難しいと思いますので、企業に対するフォローをしていくことが大切だと思います。それと、実際に聞いた話ですが、職場と寮や住まいを行ったり来たりするだけの外国人労働者が多いというのを聞いたことがあり、実はそういう人たちの中には、地域の人たちともっと関わりたいと思っている人が多いようです。外国人の方と触れ合う機会をつくってあげることで、自国に帰った時に恵庭のまちは良いまちだったよと言ってもらえれば、恵庭のイメージも良い方向につながるのかなと思います。</p> <p>また、恵庭には車椅子の方でも川ぶちに入れる場所があるという話を聞いたことがあります。新しいものをつくらなくても、恵庭にはこういう良い場所、ものがたくさんあると思います。今あるものを活かすまちづくりも進めていただければと思います。</p>
A委員	企業を知ってもらうには、実際に見てもらうことが一番良いと考えています。大きな工場以外は、見学という形をとるのはなかなか難しいですが、企業側の見せる意識を構築していく必要があるのかなと思っています。

A委員	<p>工業団地内の工場からは、お互いの工場をもっと良く知ろうというような意見もあります。市では工場見学ツアー等も実施していただいていますので、これからも一緒になって継続していくことが必要と感じています。</p> <p>工場側からの意見としては、女性の就業者がなかなか集まりません。女性に限ったことではありませんが、なんとか市と連携して少しでも改善できないかなと思っています。</p>
副座長	<p>人口ビジョンの改定や総合戦略の2回の改定など、全国的に見ても先駆的な取り組みで、モデルケースになるのかなと思います。短期的な事業の展開や振り返りなど、道内でも非常に参考になる例だと思っています。今後の改定や事業の中でも、色々な面で連携して取り組んでいきたいと思っています。今後ともよろしくお願いします。</p>
座長	<p>委員の皆様からの恵庭への思い、取り組みへのメッセージを改定につなげていただければと思います。</p> <p>人の動きでいえば、子育て現役世代の人たちが、どういう形でその地域を選択するのか。これまでは働くということが一番のポイントでしたが、最近では子どもたちの教育の質、魅力を求める動きが大きくなっています。今、地方創生の政策の中で注目されているのが、離島など隔絶した地域では高校がなくなり、中学生やその家族が出て行ってしまふ。この分をなんとか取り返さなければということで、高校の魅力化という動きが増えています。地域おこし協力隊なども活用して、高校の魅力化に力を入れることで、見違えるように教育の質が良くなり、全国からその地域に人が集まるようになってきます。教育そのものに魅力を持つことで、人の動き、主に子育て層に対して刺激を与えることができます。恵庭に住むことによって、子どもたちが魅力のある教育を受けられる環境があるということになれば、地域の大切な広告になると思います。</p> <p>恵庭には住む、働く、学ぶという3つの軸に色々な人が関わっていますが、恵庭に住んで恵庭で働いている人、他の地域で働く人、他の地域から恵庭に働きに来る人など、多様な関わりがあります。ここの関わり方を改めて整備すると、新しく見えてくるものがあるのではないかと思います。少し議論をしてみるといいと感じました。</p>
事務局	<p><b>【次第4. その他】</b></p> <p>(1) 地方創生政策形成ゼミナールの進捗状況について</p>
座長	<p>最後に市長より、何かございますか。</p>
市長	<p>委員の皆様から、大変貴重なお話をいただきありがとうございました。すぐにも、総合戦略に載せられるような項目もありましたし、総合戦略にかかわらず様々な施策の立案、展開に参考となるようなご意見もいただきまして</p>

市長	<p>本当にありがとうございます。なんとしても、恵庭に住んでいる赤ちゃんから高齢者まで全てに目配りをする。恵庭に住んでよかったなと思っていただけるように、我々行政だけでは何もできませんので、ここに居られる皆様のそれぞれの分野、あるいは市民の方々の力によって、このまちがそういうまちになるのではないかと思います。市民や市民団体には本当に様々な活動をしていただいています。そういう活動に恵庭のまちの楽しさをつくっていただき、恵庭では色んなことをやっている、色んな人がいるんだなと感じています。そういった人たちを応援する、あるいはそういう人たちが活動しやすいようにしなければならないなということを改めて感じています。基盤となる産業などを続けていくことはもちろん、恵庭に住んでいる人たちのライフスタイル、いきいきとした人生を演出できるまちで在りたいなと、改めて皆様のお話を聞いて思いました。これから、総合戦略の項目について考えさせていただきますので、よろしくお願いします。</p>
座長	<p>私の立場からも、各委員から出た意見をできれば総合戦略の改定に結び付けていただけるようなご検討をお願いしたいと思います。 最後に事務局より、何かございますか。</p>
事務局	<p><b>【次第4. その他】</b> 次回の開催日程について説明。</p>
座長	<p>今年度、第2回目の恵庭創生懇談会を終了します。 ありがとうございました。</p>